



かたくり



令和2年度
第50号

学校教育目標

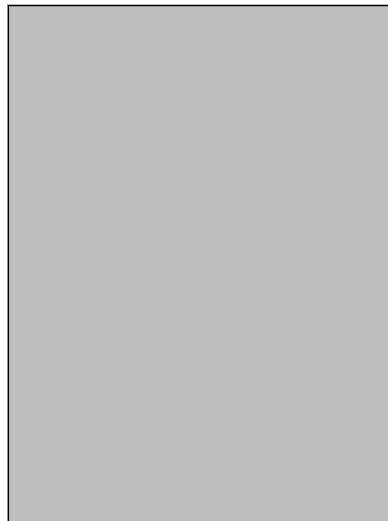
夢ふくらませ 心かがやく

2021. 2.16

県学習状況調査等に基づく本校の学力についてお知らせします。

県学習状況調査結果

※ グラフは、各教科における4・5・6年の平均（社会のみ5・6年の平均）



- 実施期日 令和2年12月2日(水)
- 実施目的 児童生徒の学力維持向上及び学習状況の把握
- 実施学年 4年生・5年生・6年生
- 実施教科 国語 社会 算数 理科 (5・6年)
- 調査内容
 - ①教科に関する調査
 - ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査(児童生徒)

- 4～6年は、学年懇談にて県学習状況調査・CRT（標準学力検査）の個人票を配布します。
- 1～3年は、学年懇談でCRTの個人票を配布します。
- 結果等の詳細については、学年懇談で説明いたします。

- ・国語については、県の平均を2つの学年が上回りました。さらに力を伸ばしていくためには、「読む力」をつけていくことがポイントになります。本に親しむことや新聞に目を通すなど、少しずつ積み重ねていくことを奨励していきたいと思います。また、言語については、一人勉強等でよく学習できているようですので、継続して励ましていきたいと思います。
- ・社会については、県の平均を下回りました。社会的な事象についての知識・理解を高める必要があります。また、資料の中から読み取ることについて不得手に感じている子どももいますので、「資料からの読み取りから対話へ」の形を多くするなど、学習の進め方に工夫をもたせたいと考えています。新聞に目を通すことは、社会的な事象に主体的にふれることにもつながりますので、奨励していきたいと思います。(裏面へ)

- 算数では、県の平均を2つの学年が上回るなどががんばりました。思考を必要とする問題にじっくり取り組むなど、よい傾向がみられます。全体的に正答率が低くなっている領域が「数と計算」です。単純に計算することはできますが、計算に行き着くまでの過程についての理解が不足しています。また、単純な計算ミスも散見されますので、その部分を改善することにより、さらに力を伸ばせそうです。日常の授業の中で、あるいは一人勉強等で、「間違い」は悪いことではなく、その理由を考えることにより、次に生かすことが大事であることを実感させることができるように指導していきたいと思います。
- 理科については、県の平均を上回ったのは1つの学年だけでした。授業の様子をみていますと、興味・関心をもって授業に取り組んでいますので、意外な結果でした。楽しく実験や観察をしたあとの「なぜそうなったのか。」「そのことからどんなことが考えられるか。」の部分を大切にし、そのことについて考えを交わし合い、自分の考えを深めていくことをもっと徹底していく必要があると感じました。
- 各学年、どの教科とも上位層をもっと増やしていくことが課題といえます。子どもにとっては面倒なこともかもしれませんが、少し難易度の高い問題に挑戦させることによって、思考力を高め、実力を高めていくことが必要であると考えます。日常の授業や一人勉強の取り組みへのアドバイス等、何らかの実践を進めていきたいと思います。
- 一人勉強の内容が充実してくると、中学・高校での勉強の進め方により影響を与えていきます。その子どもに見合った一人勉強の進め方を支援していくことを今後も進めていきたいと思います。
- 人数が多いわけではありませんが、問題数が多かったり、今まで見たときのないような問題に出くわしたりすると、じっくり取り組むことをせず、投げ出してしまう子どもがみられます。力を出し切れないことはもったいないことですので、がんばりを認め、少しずつできる部分を増やしていきたいと思います。

標準学力検査 CRTの結果概要

CRTについては、結果の到着が遅くなってしまいました。そのため、各学年での分析に十分な時間をかけることができませんでした。詳細な分析については、後日、学年報で連絡することになるかと思っておりますので、ご了承ください。以下、結果の概略です。

【実施について】

- 1年・2年は、国語と算数の2教科。3年～6年までは、社会・理科を加えた4教科。
- 個人または集団(学級)のその学年における到達度が分かる。

- 学校全体として望ましい結果であると判定されたのが算数、ますますの結果であると判定されたのが国語でした。
- 社会と理科については、一部の学年のみ望ましいという結果で、多くの学年が全国平均並みという結果でした。
- 4年～6年までについては、県学習状況調査と同じような結果でした。ただ、県学習状況調査で、秋田県平均を上回ることができなかった学年については、今回は、力を伸ばしたといえる結果となっています。
- 1年・2年は、思考面の得点率が高い傾向にあります。知識面も悪くはありませんが、思考面が高いだけに、さらなる伸びが期待できそうです。
- 子どもたちのがんばりを意欲面でみてみると、どの学年ともに良好な状況にあります。日頃の真剣な取り組みが実証されたことになり、大変うれしく思います。
- 今回の結果から、学習に真剣に取り組んでいることや思考面でがんばっていることが分かってきました。また、知識面では、まだ伸ばす余地がありそうです。この結果をふまえて各学年毎に分析を進め、今後の指導につなげていきたいと思います。
- 個々の結果について、ご質問等がありましたら、担任までお知らせください。